

### 推薦のこぼば ― 影印刊行の意義 ―

私のような古代史の研究者は日々活字本で済まされていない。古くから校合が行われて、信頼すべき活字本が揃って来た。しかし活字本だけでは済まない。あいつの調子で注釈をまとめたものがきた。かといって注釈を中心とした書紀研究会で書紀を注釈するところまで私も何事かを抱かされた。ただ先づかたは書紀研究会の調子で注釈を中心とした書紀研究会で書紀を注釈するところまで私も何事かを抱かされた。ただ先づかたは書紀研究会の調子で注釈を中心とした書紀研究会で書紀を注釈するところまで私も何事かを抱かされた。...



### 尊経閣善本影印集成

第四輯  
古代史籍  
全九冊

定期予約募集！2001年10月刊行開始

- 記本予定 ※4月下旬刊行予定 (※4月下旬刊行予定)
- 日本書紀 一冊 [国史]
- 日本書紀 二冊 [国史]
- 日本書紀 三冊 [国史]
- 日本書紀 四冊 [国史]
- 日本書紀 五冊 [国史]
- 日本書紀 六冊 [国史]
- 日本書紀 七冊 [国史]
- 日本書紀 八冊 [国史]
- 日本書紀 九冊 [国史]

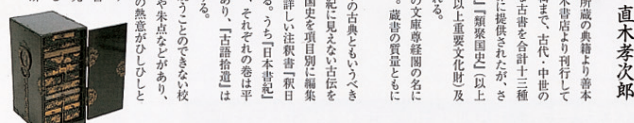
- 古事記 一冊 [国史]
- 古語拾遺 一冊 [国史]
- 類聚国史 一巻子本 [国史]
- 類聚国史 二冊 [国史]
- 類聚国史 三冊 [国史]

- 第1輯 儀式書 全12冊セット  
第2輯 類書 全5冊セット  
第3輯 古辞書 全8冊セット
- B5判(平均250頁)・A4判横(平均330頁)／上製コート紙／貼面入  
● 本文二色刷(朱のある書目)／特選高級中性紙使用  
● 高精細カラータン印刷  
● 平均予価本体28,900円 ※消費税込別送お楽しみです。  
● ご注文は最寄の書店、または同封ハガキにて小社へお申し込み下さい。  
※尚、本集成は分売致しません。第4輯全9冊セットにてお申し込み下さい。

#### ご購入の案内

- B5判(平均250頁)・A4判横(平均330頁)／上製コート紙／貼面入
- 本文二色刷(朱のある書目)／特選高級中性紙使用
- 高精細カラータン印刷
- 平均予価本体28,900円 ※消費税込別送お楽しみです。
- ご注文は最寄の書店、または同封ハガキにて小社へお申し込み下さい。

※尚、本集成は分売致しません。第4輯全9冊セットにてお申し込み下さい。



2001.7.30.000.TP

### 国宝・重要文化財など至宝の古代史籍を精選!

墨朱濃淡・料紙の質感等  
原本の様態を精緻に影印!  
徹密な二色刷により  
微細な古訓点を再現!



【解説】石上英一・吉岡眞之  
【調註解説】沖森卓也・月本雅幸

## 尊経閣善本影印集成

### 第四輯 古代史籍 全九冊

- 日本書紀 四巻(全) 十四冊・十七冊 [平安後醍醐写 国史]
- 日本書紀 二十九冊 [正安三・四年写 重要文化財]
- 古事記 三冊 [室町末期写]
- 古語拾遺 三種各一巻(墨朱) 三巻(朱) 三巻(朱) [鎌倉末期写 重要文化財]
- 類聚国史 平安末期写(四巻) 模写本(五巻) 明正本(十五巻) 大永本(四巻)

#### 刊行の辞――

前田育徳会尊経閣文庫には、旧加賀藩前田家に伝来した貴重な書籍・文書類を数多く蓄積して今日に至っています。

その間、前田家第十六代利為は、偶々大正十二年(一九三三)九月、閑坐中突如に際し、貴重な文物が被災・消滅するの目のあたりにして、同家伝来の古書籍・古美術品等を不測の災に逢うことを恐れ、その保存と複製等を目的として、大正十五年二月、財団法人育徳財団を設立し、蔵書中特に貴重と認められるものを選んで『尊経閣蔵刊』と名づけて複製刊行した。その成果は、同年六月刊行の『古語拾遺』から昭和二十七年(一九五二)刊行の『建治三年記』まで六十四点にのぼり、研究機関等に無償頒布された。

しかし古書の原装複製・無償頒布には必ず限界があり、広く研究者の利用に供するには種々の困難が伴う。そこでこのたびは『尊経閣蔵刊』刊行の趣意を継承しつつも、鮮明な字面の刊行を第一の目的とし、影印版を冊子に編成、『尊経閣善本影印集成』と名付けて出版することとした。

商業、平成五年(一九九二)十二月、第一輯(西宮記以下儀式書)の第一冊を刊行したのを皮切りに、今日まで第二輯(輪略以下類書)・第三輯(古辞書)以下古辞書の出版を終え、引き続き『古代史籍』および『古代法制史料』を採りあげ、影印出版することとした。そのうち、まず第四輯として『日本書紀』『古事記』『古語拾遺』『類聚国史』の五部を全九冊に編成して第五輯として『法曹類格』『交禮式』『政事要略』

には、東京大学史料館所蔵教授石上英一・国立歴史民俗博物館教授吉岡眞之の両先生に参画し、各自の解説を両先生および国語学専攻の立教大学教授沖森卓也・東京大学助教授月本雅幸両先生にお願した。上記諸先生およびこの事業に対して協力を惜しまれなかった八木書店に深甚の謝意を表するものである。

#### 尊経閣文庫について

昭和三年四月、前田家第十六代利為により、東京駒場郡内に蔵書・複製と図書館開館を新規、取蔵書の中心と命名、財団法人前田育徳会が組織されました。尊経閣蔵刊の指定文化財は、工藝品等を含めて国宝・重要文化財計七十六件を数え、取蔵書の内容は『日本書紀』『類聚国史』『日本書紀』『政事要略』『法曹類格』『秘府略』『色紙子類抄』『水左』(万葉集)『佐日記』等々、史書・法則・辞書・古文書・物語、詩歌など多岐に亘り、我が国の国際性・種族性の中でも特に質的・量的に誇をあげている。現在、一定条件下で研究者の閲覧に供しています。



**八木書店** 出版部

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
 ●TEL: 03-3291-2361 [営業] 03-3291-2360 [編集] ●FAX: 03-3291-2362  
 ●E-mail: pub@books-yagi.co.jp ●Web: http://www.books-yagi.co.jp/pub

**八木書店** 取寄店

且河道 題  
而卷 取  
八木書店 題  
而卷 取  
八木書店 題  
而卷 取

